# 岩五の給食



令和7年11月6日(木) 江戸川区立小岩第五中学校 給食試食会/給食運営委員会

## ☆学校給食の目標☆ (学校給食法より)

- 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
- ② 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる 判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。
- ③ 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。
- ④ 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神③並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- ⑤ 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、 勤労を重んずる態度を養うこと。
- ⑥ 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。
- ⑦ 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。

学校給食は、教育活動の一環と考えられており、学校生活にとって大切なものです。食事の正しいあり方を学ぶとともに、集団の中でお互い思いやりの心を育て、ひとりひとりの役割を果たしていくことを学んでいます。

ご家庭におきましても、給食にご理解いただき、お子様への助言をよろしくお願いいたします。

### ☆岩五の食育☆

現在、心豊かな子どもを育てるために食育を推進することが重要な課題となっており、平成 17年に施行された食育推進基本計画では、学校における食育の推進が重視されることになり ました。そこで、本校の教育目標は以下の通り、従来の「知」・「徳」・「体」に「食」を加えた 4つとしています。

#### 【小岩五中の教育目標】

- 〇健やかな人(食生活を大切にして健やかな人になろう)
- ○知性に富む人(知性に富む人になろう)
- 〇心豊かな人(心豊かな人になろう)
- ○勤労を尊ぶ人(自由と責任を重んじ勤労を尊ぶ人になろう)

これらの目標達成にむけて、食に関する指導の全体計画を作成し、以下の健康教育目標をたてました。

- ①自分の生活や将来の食生活における課題を見つけ、朝食を必ず摂るなど、望ましい食習慣 を身につける。
- ②食文化や食品の生産・流通について理解を深め、食事を通して豊かな心と望ましい人間関係を構築できる。
- ③食物の働きや栄養について理解し、献立・調理にも関心をもち、日常生活に生かしていくことができる。
- ④食事を通して自らの健康管理ができるようにするとともに、生涯にわたって健康的な生活 を学ぼうとする態度を育てる。

小岩五中では「**食育は生きる力(知育・徳育・体育)の基盤である**」と位置づけています。 生徒自身が中学校卒業までに、「健康に生活するためにはどんな食生活をしていくべきか」に ついて学び、実行できる力を育てるための環境づくり、「生きた教材」として給食の献立をたて るようにしています。

#### ◎食育実施内容(令和7年度)

項目	内容				
給食だよりの発行	毎月、献立表とともに各月の給食目標に沿ったテーマの食や健康に関する				
	話題を掲載した給食だよりを発行。不定期で号外も発行。				
献立紹介(お昼の放送)	献立について栄養素や名前の由来、歴史などを紹介・時折クイズで出題。				
行事食	日本の節句や伝統行事、学校行事に合わせた給食を提供・紹介。				
	日本の伝統食や行事についての理解を深める。				
日本各地の郷土料理	47 都道府県の郷土食及び、各地の特産物を活用した献立を提供・紹介。				
世界の料理	毎月、世界各国の料理を提供・紹介。				
	給食室前の掲示板に各国の食文化や給食で提供する料理などの情報を記載				
	した掲示物を掲示。				
地産地消献立	日々の給食には地元農家の方より納品していただく江戸川区産の新鮮な小				
	松菜を使用しているほか、東京都産の食材を使用した献立も実施。				
図書室コラボ給食	絵本や小説に出てくる料理を取り入れた献立を提供。同時に、図書室で当				
(10月・他不定期実施)	該の本を紹介。				
全国学校給食週間	1月24日~30日の「全国学校給食週間」期間中に、給食の歴史等を紹				
(1 月実施)	介。「昔の給食」「東京都の食材・料理献立」などを提供。				
みんなの給食	学校給食を通して SDGs への関心を高めることを目的として、江戸川区				
〜給食から SDGs を考える〜	内の全小・中学校で実施。食とSDGsの関連や、ひとりひとりができる				
(10月・2月実施)	ことを紹介。				
残菜O運動	残菜を減らし食品ロスの削減につなげるため、ひとりひとりができること				
(7月・10月実施)	を考え・工夫して実践する週間。				
	期間中、残菜の削減に大きく貢献したクラスには感謝状を贈呈。さらにそ				
	の中で最も残菜率の低かったクラスには給食リクエスト権も贈呈。				
セレクト給食	献立の中で1品、2~3種類から好きなものを選択する。				
(各学期1回ずつ実施)	(例 主食セレクトの場合、A:さとう揚げパン/B:きなこ揚げパン/				
	C:抹茶揚げパン から1品選ぶ。おかずや汁物は共通の献立。)				
リクエスト給食	全校生徒を対象に、主食・おかず・デザートの3部門で、今まで食べた給				
(3 学期実施)	食の中からもう一度食べたい料理を書いてもらい、給食委員が集計し、各				
	クラスで1位を獲得したメニューを献立に採用。				

#### 給食掲示板の活用

食に関する行事・話題や 生徒からリクエストがあったテーマの掲示物、給 食委員が作成した掲示物 などを、給食掲示板で紹 介しています。



### 【衛生管理について】

- 食品の納入及び取扱いについては衛生面で万全な配慮を行っています。
- ・加熱する食品については中心温度が85℃以上、1分半以上の加熱が行われたかどうか、 中心温度計を用いて確認・記録しています。
- 肉や魚、果物は専用のまな板・包丁を使用、使い捨て手袋を着用し素手で触りません。
- 不測の事故に備えて、原材料と調理済み食品を各 50g 採取し、-20℃以下で 2 週間保管し ます。
- 調理工程表と作業動線図を作成し、調理中の衛生に注意しています。
- 調理従事者の健康に注意しています。 (毎朝の健康観察、月2回の検便、年1回の健康診断など)
- 使用する水道水は毎日調理前 調理後に残留塩素濃度を測定しています。

### 【献立作成について】

学校給食では、一日の摂取基準の約1/3の栄養素がとれるように献立を作成しています。 また、子どもたちの成長に不可欠ながらも日常の食生活では不足しがちな、カルシウム、鉄、 ビタミン類は給食でより多くとるように基準値が設定されています。

1週間、1か月の単位で栄養価が満たされるよう献立を決めています。

#### <江戸川区 学校給食摂取基準>

(令和3年10月改正)

	エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	鉄
	[kcal]	[g]	[g]	[mg]	[mg]
学校給食摂取 基準値	830	34.2	23.1	450	4.5
	ビタミンB1	ビタミン B2	ビタミンC	食物繊維	食塩
	[mg]	[mg]	[mg]	[g]	[g]
学校給食摂取 基準値	0.50	0.60	35	7.0	2.5未満

江戸川区では、さらに「1日当たりの食品群別平均摂取量(g単位)」を考慮して献立をたてています。

(例)· 芋及び澱粉類 35g/日

・種実類 2.3g/日 ・小魚類

3. 2g/日

• 豆類

3. 3g/日 ・きのこ類 4. 6g/日

• 豆製品類

22g/⊟

• 藻類

3.8g/\(\text{B}\)

など

- 食品構成に基づいたうえで、栄養基準量の確保に留意しています。
  - \* 主食は10日間で米飯7回、パン2回、麺1回の割合で実施しています。
  - \*牛乳は成長期に欠かせないカルシウム源として、原則毎日提供します。
- ・行事食や旬の食材を取り入れて季節感を出すようにしています。
- 子どもたちの好みを配慮します(リクエスト給食)が、好きな献立だけではなく、幅広く 色々な献立を作成しています。
- ・家庭で不足しがちな、豆・小魚・芋類・海藻類・種実類・根菜類などの食品を積極的に取り 入れています。

# 【給食調理について】

子どもたちに自然の味を知ってもらうため、化学調味料は使わずに朝一番でおいしいだしを 煮出しています。

和風料理 → 削り節、昆布、煮干し、ほたて貝柱 など 洋風料理・中華料理など → 豚骨、鶏ガラ、野菜 など

- ・冷凍食品などの加工品は使用せず、コロッケ・ハンバーグなど一つずつ手間をかけて、手作りしています。
- カレー、シチュー、ポタージュなどのルウは、学校で油と小麦粉で時間をかけて手作りしています。
- 食材は良質で鮮度の良いものを使用しています。
- 生鮮食品は当日に購入しています。
- 食材の選択に注意を払い、不必要に食品添加物の入ったものは使用していません。
- 遺伝子組み換えの可能性のある材料は使用していません。

### 【環境対策について】

- 江戸川区では、環境に配慮した学校給食を実施しています。
- ・破損した給食用の食器(磁器食器)は、各学校から回収し リサイクルしています。



• 残菜は回収し、リサイクル業者が堆肥化しています。しかし、経費がかかることや、中学生 に必要な栄養が取れなくなってしまうので、食べ残しをなるべく減らす工夫や努力が課題と なっています。

#### 【地産地消】

『地産地消』とは、「地元で生産されたものを地元で消費する」という意味です。最近、消費者の農産物に対する安全・安心志向の高まりや生産者の販売の多様化の取組が進むなかで、消費者と生産者を結びつける「地産地消」への期待が高まってきています。

本校では江戸川区の小松菜農家の方と契約を結び、「江戸川区産」の小松菜を給食に活用しています。

また、学校農園・果樹園で収穫された野菜や果物も給食に適宜 活用しています。

## 【アレルギー対応】

江戸川区教育委員会の方針のもと、生徒が健康な生活が営めるよう、家庭の食事療法に協力する立場で可能な範囲で対応します。

- 原因食品の完全除去食対応を基本としています。「少量は OK」「卵だけどつなぎ程度なら大丈夫」などの場合でも完全除去食の提供を行います。
- 調理上、除去が困難な場合、代替食(弁当)を持参していただくことがあります。
- ・誤食防止のため、対象生徒は除去食対応・代替食持参の日は全ての献立のおかわりを禁止としています。
- 生徒が誤食してしまい食物アレルギーを発症した場合の緊急時に、教職員が具体的かつ確実に対応できるよう、4月に研修会を実施しています。

#### 【感染症対応】

新型コロナウイルスが5類感染症に移行されるまで、東京都及び江戸川区教育委員会の指針・マニュアルに基づき、「新しい生活様式」を取り入れた給食の時間を教職員・生徒と協力して実施してきました。

今後は、換気・手洗い・咳エチケットの指導などは継続しますが、感染状況が落ち着いているときは、これ以外に特段の感染症対策を求めることはありません。ただし、新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症流行時は、これまでの経験を活かし、以下のような対応をとっていきます。

#### (例)

- ・給食当番の健康及び衛生の確認は教職員が実施し、記録をとっておく。
- 教室内で、座席と配膳の間隔が狭い場合は、廊下で配膳を行う。
- ・原則自分の給食以外の準備はしない。給食当番の給食等を、別の生徒が準備することはしない。
- ・一度盛りつけた給食を戻し、別の生徒へ盛りつけるようなことはしない。
- ・座席は間隔を開け、向かい合わせにしない。全員前を向いて静かに食べる。(黙食)
- おかわりは、教職員が生徒に配膳する。生徒は自分でおかわりを盛りつけない。



## 【 本日提供した料理のレシピ ~その1~ 】

# \*とり肉のから揚げ\*

さいりょうめい 材料名	************************************	約4人分	メモ
とりももめ 切り身	30g2枚	8枚	
にんにく	0. 3	てきりょう 適量	すりおろす
しょうが	0. 6	ren <sub>s</sub> う 適量	すりおろす
酒	0. 9	小さじ2	
<sup>さとう</sup> 砂糖	1. 5	ふさじ1強	
しょうゆ	3	小さじ2	
でん粉(炸菓粉)	2. 5	ren <sub>s</sub> う 適量	
上新粉	2. 5	てきりょう 適量	
揚げ油	できりょう 適量	てきりょう <b>適量</b>	



## 作り だ

- 2. とり肉の切り 身に 1 の 請菜 でよく下味をつける。(1~2時間ほど漬けておく)※チャック付き袋 などに入れてもみこむとまんべんなく味がつく& 楽です!
- 3. 片栗粉と上新粉を合わせてふるっておく。
- 4. 2のとり気に3の粉をつけて、歩っついっつい。 180℃で中心まで火が通るまでしっかり揚げる。
  - ※生の肉は食中毒につながる恐れがあり危険です。 があず、中まで火が違っているか食べる前に確認しましょう!

岩五のから揚げは、しょうが醤油園様ですが、塩・こしょう味にしたり、にんにくをきかせたりしてお煮に入りの味を見つけてみてください♪



- \*養物アレルギー等、紫鷺に配じて、答ご家庭の判断でお作りください。
- \*最終的な味の調整は、お好みに合わせて答ご家庭で行ってください。

## 【 本日提供した料理のレシピ 〜その2〜 】

# \*はりはり和え\*

対料名	egojust nosity 給食1人分	約4人分	メモ
切手大根	5	20	
りょくとうはるきめ 緑豆春雨	1. 5	6	
もやし	5	20	
キャベツ	20	葉1枚	せん切り
きゅうり	10	1/2本	新め半月切り
しらす手し	6	24	
ハム	8. 5	2枚	
ごま油	1. 5	ふさじ1.5	٦
砂糖	0.8	こ 小さじ1弱	
<b>垣</b>	0. 15	シャラシェラ	- ドレッシング
酢	2	こ 小さじ2弱	
薄白しょうゆ	2. 8	こ 小さじ2弱	



## 作り方

- 1. 砂糖~薄白しょうゆを合わせて火にかけ、砂糖と塩をよく煮溶かす。
- 2. 砂糖と塩が溶けたらごま 猫 を がえて 仕上げ、よく冷ましておく。
- 3. 切干大根は水で戻しておく。
- 5. キャベツときゅうりは切っておく。
- 6. 鍋でお湯を沸かし、もやしとキャベツを さっとゆでて、すぐに流水で冷ます。 ※野菜によって火の選り真合が違うの で、それぞれの野菜ごとにゆでる。 ※火の遠しすぎに淫意!
- 7. 3~6の後初を含わせて永覚をよくきり、2のドレッシングで和えて完散。 ※すぐに食べないときは、野菜と馨爾の永覚をよくきって冷蔵庫で冷やしておき、食べる質節に和えてくださ

ドレッシングだけではちょ ぴり薄味ですが、しらすとハ ムの塩気で美味しくいただ けます♪



- \*食物アレルギー等、、状況に応じて、各ご家庭の判断でお作りください。